

広報 ただみ

6
2022 月号
No. 625
令和4年6月10日



今月の表紙

【町内小中学校田植え体験】

町内の小中学校で田植え体験が行われました。
今では機械で植えることが殆どですが、昔ながらの手植えを行い、農業に携わる方の努力やお米の大切さを改めて学びました。

(関連記事：P 7)

《特集》

「放課後子どもクラブ」が始まりました！

..... 2～3

《News&flash》..... 4

《町の話》..... 5～7



「放課後子どもクラブ」が 始まりました!



「放課後子ども教室」と「子育てひろば」を統合した「放課後子どもクラブ」が、4月から開始しました。放課後子どもクラブは、放課後における児童の安全安心な居場所をつくり、学校・家庭・地域の協力を得ながら、児童の基礎体力・運動能力の向上や交流活動等を通じて主体性を養うこと、また保護者の子育てに関する学びの場を提供することを目的としています。

放課後子どもクラブは 子育て・子育てを支援しています

放課後子どもクラブは4月から町内3地区で週5日、放課後、学校の図書室や体育館を主な活動場所とし、地域と学校が連携し、教育委員会が主体となって放課後の児童の安心安全な居場所づくりとしてスタートしています。コーディネーターと運営サポーター（スタッフ）が中心となって、学習や運動あそび、交流活動などを行い、子どもたちとの関わりを深めながら、子どもの目線、ペースを尊重し、成長する力を大切にしながら活動しています。

また、親子教室では、科学実験や自然体験など、様々な視点を持って親子で楽しく取り組むプログラムの創出をしています。これらの活動をただみコミュニティクラブがコーディネートしています。

子どもたちを見守り育むこの活動は、学校・家庭・地域が協力し合いながら、子どもたちが社会の一員となり成長する場として継続的に支える町の取り組みです。

対象者	1年生から6年生
開催場所	各地区小学校
開催日	平日週5日
開催時間	下校時間から17時まで
お迎え時間	18時まで
参加料	無料
スタッフ	ただみコミュニティクラブ 地域の方々



放課後子どもクラブに参加したい 児童、スタッフ募集中です



スタッフ、児童ともに随時募集しております。

参加のために必要な書類などがありますので、まずは教育委員会や各振興センターにご相談ください。

お問合せ先：只見町教育委員会 ☎82-5320

ご存知ですか

子ども一時預かりサービス

「こもりっぴ」



★一時預かりサービスとは？

会員登録した「子育ての手助けをして欲しい人」（依頼会員）と「子育てのお手伝いをしたい人」（協力会員）が、地域の中で子育ての相互援助活動を行う事業です。

なお、依頼会員と協力会員を兼ねて登録することも可能です。

★サービスの内容は？

お仕事や冠婚葬祭などで自宅に誰もいなくなってしまうなどお困りの場合に子どもを預かります。その他、送迎などの子育て支援に必要な援助を行いますので、詳しくは保健福祉課までお問い合わせください。

★対象となる子どもは？

父母又は祖父母のいずれかが町内に居住するおおむね生後3か月から小学校修了前の子どもです。

★利用料金は？

利用料金は助成制度により無料となりますが、活動予定の1時間前や無断で取り消した場合の取り消し料は、助成の対象となりません。

また、援助活動に必要な子どもの食事代（ミルク）、おやつ代、おむつ代や交通費などについては、依頼会員の負担となります。協力会員宅での食事の提供があった場合は、1人につき1食300円です。

協力会員募集中

子どもが好きな方や子育てを経験されている方など協力会員になりませんか。

会員登録や事業詳細は、保健福祉課までご連絡ください。

お問合せ先

保健福祉課 ☎84-7010



こんな補助金もあります！

(条件がありますので、担当課にご確認ください)

チャイルドシート購入補助金 (事前にご相談ください)

6歳未満の幼児を対象にチャイルドシートを購入する際の
購入価格の2分の1を補助します。(1万円限度)

お問合せ先：町民生活課 ☎82-5110

子宝祝金支給

支給要件に該当する場合に **第1子出産10万円 第2子出産20万円**
第3子以降30万円の祝金を支給します。

お問合せ先：保健福祉課 ☎84-7010

只見町幼児家庭保育支援給付金

満1歳から小学校入学前の幼児の保育を家庭で行う保護者に
月額1万円を支給します。

お問合せ先：保健福祉課 ☎84-7010

今年度の交流事業を確認 「ふるさと交流企画会議」開催

「令和4年度ふるさと交流会議」が5月19日にオンライン形式で開催され、ふるさと交流都市である千葉県柏市と只見町の交流事業の確認などが行われました。

柏市市民生活部の谷口理事は「お互いに協力、支援を続けながら、今後とも交流を深めていきたい」とあいさつをしました。

協議では、両市町からイベント参加や学校給食の食材交換、柏市での只見線PR事業など交流事業の確認や提案が行われました。



▲毎年、会場を交互に移しながら開催していましたが、コロナ禍のためオンライン開催となりました

只見町・河井継之助記念館 開館から50周年を迎える

河井継之助記念館（塩沢）は、昭和47年の5月に一般公開が始まってから50周年を迎え、入口に50周年を記念する看板が設置されました。

河井継之助記念館を運営する会津ただみ振興公社のスタッフは「50周年を記念した事業を行っていききたいと考えています。いよいよ公開になる映画も後押しして、只見町と河井継之助の関係も多くの方に知っていただければと思います」と話しました。河井継之助記念館は、観光客の他に、修学旅行の児童生徒が訪れるなど教育学習施設としても利用が増えています。



▲「祝50周年」の看板と「河井継之助終焉の地」のぼり旗

只見中 中学生記者が書く SDGs コラム

第5回

SDGs委員長となって取り組みたいこと

SDGs委員長 3年 吉津 就



前年度SDGs委員会の委員長だった佐藤さんの後を引き継いで、今年度のSDGs委員長になった吉津就です。私は、SDGsの理念【誰も取り残されない】という考えを町内はもとより町外に広め、その活動範囲を広めたいと考えています。

中学校入学までは、SDGsにそれほど興味を持ってはいませんでした。しかし、その内容を学び実際に中学校で活動を始めてからは、世界中で取り組まなければならないものと考えが変わってきました。中学校で新聞紙レジ袋やねっか袋を作っていることが注目されていますが、SDGsの本質に触れるにつれ、只見中学校卒業の先輩方が素晴らしいと思うようになってきました。いつしかSDGs委員会に入り、リーダーとして活動したいと思うようになったのは、そんな先輩に少しでも近づき、自分なりのやり方で【誰も取り残されない】を実現したいと思ったからです。

SDGsに対する町内の意識は高いと感じていますが、それだけでは不十分だと思います。私は他の市町村の中学生がもっと活動をするにより、多くの方がより良く生きることに繋がっているのです。実際に会わなくても、インターネットを利用して多くの人が意思疎通できる世の中になってきました。これを利用し会議をして、それぞれの地域で活動すれば良いと思うのです。そして、互いの活動を報告し合うことで、広い範囲の同じ考えを持つ仲間を増やしていきたいと考えました。【誰も取り残されない】社会を只見から始めませんか？

地域の景観・環境美化を推進

朝日地区「ちょボラごみ拾い」開催

「ちょボラごみ拾い」が、朝日地区地域づくり委員会の主催で4月23日に開催され、朝日地区内から53人が参加しました。

参加者の皆さんは、国道289号沿いや町道沿いに落ちていたゴミを精力的に拾い歩き、集めたゴミは燃えるゴミが20袋分、燃えないゴミが8袋分、危険ゴミが1袋分となりました。

ゴミ拾いを終えた参加者は、「こんなに沢山のゴミが落ちているのは悲しくなります。今日はみんなと一緒に地域をキレイにできて良かったです」と話しました。



▲地域の美化のために早朝からゴミ拾いに参加した皆さん



▲報告に訪れた湯田和敬校長(右)

文部科学大臣表彰を受賞

明和小学校「子供の読書活動優秀実践校」に選ばれました

令和4年度「子供の読書活動優秀実践校に対する文部科学大臣表彰」に明和小学校が選ばれ、湯田和敬校長が受賞報告に役場を訪れました。

明和小学校は、地域の図書ボランティアの方との連携や、アナウンサーの方などによる読み聞かせ、県立図書館の「あづま号」を活用し様々な図書に触れる機会を設けるなど、地域や関係機関と連携した読書活動の推進が表彰につながりました。



虫歯のない子

(4月26日 3歳児検診)



さかい いっしん
酒井 一心くん
(黒谷)



やまうち とし
山内 杜生くん
(梁取)



かくた かずま
角田 和真くん
(熊倉)



すんどう のの
遠藤 菜乃さん
(小林)



さんべ さく
三瓶 朝空くん
(大倉)

全国大会出場メンバーに選出

五十嵐千紘くん「福島県小学生剣道選手権大会」3位入賞

五十嵐千紘くん（只見小）が、「福島県小学生剣道選手権大会」（令和3年10月17日開催）で3位に入賞し、今年9月開催予定の「全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」（全国大会）に福島県代表として出場することが決定しました。

千紘くんは「3位になれたことが、まだ夢のようです。全国大会に向けた強化練習をしっかりとこなして、爪痕を残せるように頑張ります」と決意を話しました。

指導者の日野さんと目黒さんは「今回の出場は素晴らしいことだと思います。勝ち負けだけにこだわらず、剣道を通して人としても成長を続けてほしい」と話しました。



▲3位入賞と全国大会出場の報告をする千紘君

お互いを鼓舞しながら駆け抜けました

町内小学校運動会

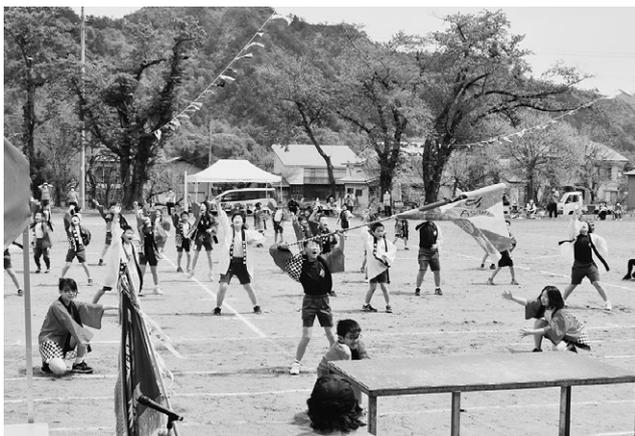


▲ダンスリング玉入れ（只見小：5月21日）

町内3小学校で運動会が開催され、児童たちは玉入れやリレー、ダンスなどの様々な競技で日頃の練習の成果を発揮していました。

応援合戦では、時事ネタなどを取り入れながら気合いをいれたりお互いを鼓舞しあったりしチームの士気を高めました。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観覧者は保護者やご家族の方のみでしたが、会場中に響き渡るほど大きな拍手が、真剣に競技する児童たちに送られていました。



▲朝日よっしゃこい（朝日小：5月14日）



▲紅白応援合戦（明和小：5月14日）

残雪の残る森林を歩く

ブナセンター自然観察会「春の花と新緑のブナ林観察会」

「春の花観察会」が4月30日に、「新緑のブナ林観察会」が5月1日に、ブナセンター主催でそれぞれ開催されました。

「春の花観察会」は、12人の参加者が余名沢の森林内を歩き、フクジュソウやカタクリ、キクザキイチゲなどの春植物を観察し、ブナ林やミズナラ林などの林ごとに変わる植物の生態に関心を寄せていました。

「新緑のブナ林観察会」は、12人の参加者が「癒しの森」を松坂峠側から登り、カラマツやコナラ、ブナを観察しながら、残雪の中に広がる新緑を楽しみました。



▲解説を聞く参加者の皆さん（新緑のブナ林観察会）

農業の大変さや工夫を学ぶ

町内小中学校で田植え体験

町内小中学校で農家の方の水田を借りて「田植え体験」が行われました。（只見小：新國真也さん、朝日小：藁谷友活さん、明和小：松井栄吉さん、只見中：三瓶清志さん）

子どもたちは、農家の皆さんから稲作の歴史や現状を教わり、農業の大変さと大切さを学びました。

今後は、秋に稲刈り体験を行う他、中学校では、お米の6次化についても学習を深める予定です。



▲只見中学校2年生（5月19日）



▲只見小学校5、6年生（5月16日）



▲朝日小学校5年生（5月30日）



▲明和小学校5、6年生（5月23日）

広報ただみ診療所

自分の孫がコロナになったら

朝日診療所 医師 もり 森 ふゆと 冬人



今原稿を書いている時点では町内で子供の新型コロナ感染者はほぼいません。しかし、国内のほとんどの場所では保育所や小学校での流行も当たり前起きています。今の世の中の状況であれば、近いうちに町内でも子供の新型コロナ患者もでるでしょうし、保育所や小学校での感染・流行も多かれ少なかれ、起きるでしょう。

もし、自分の孫や子供が、保育所や学校で一番はじめにコロナになったら、子供や家族はどんな気持ちでしょう。きっと、周囲の人へ申し訳ない気持ちが生まれるでしょう。同級生や周囲の大人に嫌なことを言われなにか不安でたまらないかもしれません。

今の新型コロナウイルスの広がる力は非常に強いです。日頃から真面目に感染対策をしている医師・看護師でも、どこで感染したかわからないうちに感染してしまうほどです。私の知り合いの医師・医療関係者も何人も感染しています。福島県の人口のうち30人に1人以上は感染した事があるのですから、珍しい事ではないです。幸いな事は、予防接種の普及や変異株の性質のおかげで、重症になる人は非常に少ないことです。

だから感染してしまった町内の方を責める事は、私にはできません。私だって職場で一番に感染してしまう可能性があるからです。

感染してしまった方の不安な気持ちや苦しみを想像すること。感染後に無事に仕事や地域に戻ることができた方を祝福できること。そんな寛容な態度を持てる大人でありたいと、私は思います。

保育所や学校、町内の職場で新型コロナが広まることは今後もあるでしょう。感染者をゼロにすることは非常に困難です。きっと嫌になるほど聞いた、予防接種・マスク・手洗い・換気も「感染予防」のためには大事ですし、医療者としてそこは強調します。しかし、私たちの人生も生活も「感染予防」が最も大事かと言われるとおそらく違います。それより大事な事は、人それぞれの価値観にもよるので決まったものはありません。「感染予防」以外にも大事にしたいものってなんだろうと考える今日この頃です。

地域おこし協力隊として vol.90

只見町教育振興協力隊 なかしま みほ 中島 美穂



4月18日教育委員会に着任しました中島美穂と申します。

主に、只見高校振興対策担当として、山村教育留学生の募集活動と留学生とその保護者様のサポート等をさせていただいています。とは言え、全てが初めての事だらけで、周りの皆さんに教えていただきながら何とかやっているところです。

私は、5年程前に移住のイベントで只見町を知りました。そこで町の様子を聞き興味が湧いたので、早速行ってみると絵に書いたような山々に、碧く澄んだ川、澄んだ空気、そして何と言っても食べ物がとても美味しい！素敵なところだ！と感動しました。冬の雪については、雪の季節に訪れたとき、まさかの雪がない！であまり雪の大変さを分からないまま移住してきてしまったので不安はあります。（今から車の運転の仕方を教えてもらいイメージトレーニングはしていますが、心配です。）

私が只見町に来て受けた感動と只見高校の少人数校の利点を活かした広報、募集活動を行いたいと考えています。現在はまだ勉強中ですが山村教育留学制度についても、しっかりと伝えて一人でも多くの留学生を迎えたいと思います。

最後になりましたが、町の皆様にもお世話になると思います。その際にはご助力のほど、よろしくお願いたします。

みんなの只見線

只見線地域コーディネーター

酒井 浩子
さかい はるこ

「おかえりなさい、と感謝のきもちで」

豪雨災害の後、只見駅に再び列車が走ってきたのは、二〇一二年十月一日でした。その日は、早朝に只見町からバスで魚沼市に行き、只見駅へと向かう列車に乗ってお祝いしてくれる人、只見駅で迎えを待つたたくさんの人がいました。再開記念メダルも用意され、皆で再開を祝いました。

只見駅に一本も列車が来なかった一年二カ月の間、駅で仕事をしていると様々な人が訪れました。水害で被害を受けた只見町の様子を心配してきてくれた方、なぜ橋や道路が壊れているのか知らないで聞いてくる方と話をしながら、誰も降りてこないホームを毎日見ていました。

只見駅に再び列車が入ってきたときは自分でも驚くほど感動しました。毎日列車が来ることを当たり前だと思っていたけれど、当たり前ではなく、何事もなく無事に過ごせていたことも当たり前ではなかったのだと。奥会津が豪雨災害に見舞われる四カ月前には、福島県は東日本大震災と原発事故によって、住むところも、耕し受け継がれてきた田畑を失い、当たり前につづくと感じていた明日を奪われた人が大勢いたこと。その時に、毎日走ってきてくれる列車に感謝をして手をふるう、と誰とはなしにはじまったのが列車のお見送りです。一日三本の只見―小出の列車が発発するときには、スタ

ッフが外に出てお見送りすることがはじまりました。時にはお見送りに間に合わなかったり、雪が多すぎて列車の音に気付かなかつたり、電話を受けながら見送ったり。最初はふり返してもらえなかったのですが、徐々に列車のお客に訪れていた方も一緒になってお見送りをするようになりました。スタッフがお見送りにびつたりな演歌調のハッピーを作ってくれ、お客様も私たちもそろいのハッピーを着て、出発するときには「いつてらっしゃい」と、到着する列車には「おかえりなさい」の気持ちを含めて手をふっていました。

これが契機となり、魚沼市が平成二十七年三月に「只見線に手をふるう条例」を制定しました。通勤や通学時、農作業中や散歩のときなどに只見線を見かけたら手をふるう、という内容です。沿線五町村（只見町・金山町・昭和村・三島町・柳津町）でも条例が制定され、おもてなしの気持ちを表す「只見線に手をふるう」は続けられています。

JR只見線はこの災害をきっかけに全国各地に知られるようになりましたが、その歴史は古く、会津線としてはじまった会津若松―会津坂下の区間は、四年後の二〇二六年に開通百周年、小出―大白川は今年で開通八十周年を迎えます。それぞれの区間は時代ごとにその敷設目的が異なり、戦争で中断されるなどして、田子倉ダム工事の専用鉄道を編入したことで一本の只見線へとつながりました。私たちの先祖が熱望し、懇願し



てできた鉄道ですが、時代の変化と共に利便性が低くなつた只見線は住民の暮らしとは少しずつ離れ、走っていても止まっても気にならない存在になっていったのかもしれない。

災害を経なければ省みるこゝとができなかった、先人が築いてきた土地の歴史を知り、当たり前の日々を暮らせることへの感謝の思いを忘れてはいけないと思います。

町民文芸



只見短歌会 令和四年五月詠草

萌ひいでし覚ひ書きなる立て札の汚れ拭き取り花の名たしかむ
目黒 富子

只見高夢の舞台の甲子園健やかプレー心うたるる
関谷登美子

生き居れば七十越えし逝きし娘と施設で朝毎茶をくみ居りぬ
馬場 八智

白き髪気にする程ではなけれどもデパートに来て帽子を選ぶ
新国由紀子

炎天下に筵むしろの上の薔せんまいを揉みゐるいま亡き母の背遠し
渡部ヨリ子

「きく」と言ふ二人部屋なり明るさのいやまし静かいま吾独り
新国 洋子



只見俳句会 五月定例会

朝ぼらけ主なき宿の福寿草
藤の花松坂峠風彩やか
真理子

群衆を避け春愁の湖のほとり
車窓開け吹きし白きは辛夷かな
紺 青

はらからの村に幾人夏の月
コロナ禍や声をひそめる燕の子
恒 夫

春暁の飯吹き上がる水屋かな
グランドにライトの灯る遅日かな
礼

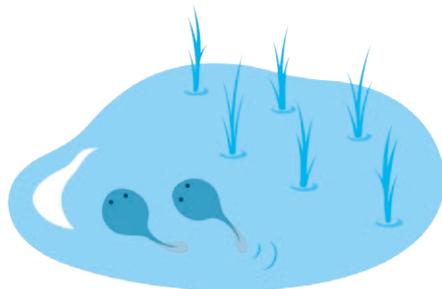
藤咲いて豆種子まけよ母の声
青芒不揃いなりて大家族
一 穂

進級の不安を話す桜餅
仏壇の先祖と語る春の雨
修 一

夏近し水と戯る童かな
薫風を白球に乗せ草野球
信

制服の折目正しく入学す
水の面やまぶしき空に青柳
都

三月や昇進せしと子の電話
幼子の手よりあふれて雛あられ
味代子



今月の お知らせ

お知らせ

弁護士によるB型肝炎 特別措置法相談会（無料）

B型肝炎特別措置法について、弁護士による無料相談会を次のとおり開催いたします。

【日時】

令和4年7月23日（土）
13時30分から15時まで

【場所】

会津若松市インター西90
会津アピオスペース2階会議室

【予約・問合せ】

☎02512231130

※予約優先となりますが、当日会場での申込みも可能です。

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

他、電話相談会を次のとおり開催いたします。

【日時】

令和4年7月9日（土）
9月10日（土）
11月12日（土）

各日午前10時から正午まで

【相談受付窓口】

全国B型肝炎訴訟新潟事務所

☎02512231130

※相談料は無料ですが、通話料が発生します。

自筆証書遺言書保管制度に 関する説明会

令和2年7月10日から始まった自筆証書遺言書を法務局で保管する制度について説明会を開催します。

福島地方法務局を拠点としてWE B会議システムを利用し、相馬・郡

山・白河・会津若松・いわきにある法務局を繋ぎますので、遠方の方でもお近くの支局で参加が可能です。

【日時】

令和4年6月28日（火）
7月28日（木）
8月30日（火）
9月20日（火）

各日午前10時から1時間程度

【場所】

福島地方法務局（各日10人から15人程度）

福島地方法務局相馬支局・郡山支局・白河支局・若松支局・いわき支局（各日5人程度）

【申込方法】

福島地方法務局供託課へ電話でお申し込みください。

☎024153411974

受付時間

9時から16時まで（土日祝日除く）

川の水位情報が確認いただけます

福島県では、河川の状況をより詳細に伝えられるよう、簡易型河川監視カメラや危機管理型水位計を設置し、河川の画像情報や水位情報の提供を行っております。

下記URLからご確認いただけますので、梅雨の時期や台風接近時などの河川把握にご活用ください。

【川の水位情報】 <https://k.river.go.jp/>



税 今月の納期

6月27日までに

納めましょう

- 町県民税（1期）
- 水道使用料（1期）
- 農集排使用料（6月分）

町長から

只見町長 渡部 勇夫

◆司馬遼太郎先生の歴史小説「峠」を原作として、日本映画界の名匠小泉堯史監督が手掛けられた映像作品「峠 最後のサムライ」を、季の郷湯ら里で全国公開に先立ち上映して頂きました。

上映会当日は、小泉監督がご来町されました。そして上映後に、役所広司が演じる河井継之助の終焉の間に掲げられていた「盡己(じんき)」という書を只見町に頂きました。この書は、日本藝術院会員の星弘道先生が書かれたもので、小泉監督自らが星先生に映画撮影後、只見町に寄贈したい旨の承諾をお取りになり、寄贈頂いたものです。

「盡己(じんき)」とは、己(おのれ)を尽くすという意味です。

「只見町にこそ、この書は相応しいと思ったので、贈ります。」という小泉監督のお言葉を聞き、身が引き締まる思いがいたしました。

◆只見小学校6年生の五十嵐千紘くんが、今秋開催される全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会に福島県代表選手として出場するという報告のために町長室を訪ねてくれました。福島県の大会で第三位に入賞したため、全国大会への出場が決定したものです。只見高校野球部に次ぐ、全国大会の出場です。本当におめでとうございます。

ご家族や指導されている関係者の皆様に心よりお喜び申し上げます。

秋までには、更に稽古を積んで、大会に臨んでは、全国への選手に臆することなく、まさに「盡己」の言葉のとおり自分の持っている力を出し尽くしてほしいと思います。心からの健闘をお祈りいたします。

町長室を訪ねてくれてありがとうございます。秋の大会後また来てくれることを楽しみにしています。

町長スケジュール (5月分)

- 2日 定例庁議（新型コロナウイルス対策本部会議 以下「本部会議」、明和小学校「子供の読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰受賞報告
- 8日 要害山開山式
- 9日 東北芸術工科大学歴史遺産学科学科長あいさつ来庁
- 10日 南会津地方町村会総会、南会津地方林業協会総会、南会津地方緑化推進委員会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方環境衛生組合管理者会、南会津防犯協会連合会総会（南会津町）、臨時庁議（本部会議）
- 11日 (株)季の郷湯ら里取締役会
- 12日 臨時庁議（本部会議）、只見町青少年健全育成町民会議総会、町内企業訪問
- 13日 会津赤べこ会講演会（東京都）
- 16日 薪エネルギー推進に関する勉強会、ただみ・モノとくらしのミュージアム運営協議会、臨時庁議（本部会議）
- 17日 「会津を拓く重点要望事項」にかかる国出先機関への要望活動（新潟市）
- 18日 道路整備促進期成同盟会全国協議会通常総会、ダム・発電関係市町村全国協議会理事会兼定例総会（東京都）

- 19日 郡山国道事務所長来庁、臨時庁議（本部会議）
- 20日 (公社)福島県森林・林業・緑化協会監事会、(公社)福島県森林・林業・緑化協会役員会（福島市）
- 23日 滝調整池堆砂処理協議会（金山町）、只見町農業再生協議会総会
- 24日 福島県町村会定期総会（福島市）
- 25日 只見町議会5月会議、臨時庁議（本部会議）、越後・南会津街道観光・地域づくり懇談会（南会津）
- 26日 「会津を拓く重点要望事項」にかかる本省要望会（東京都）
- 27日 南会津地方環境衛生組合議会臨時会（下郷町）、南会津地方広域市町村圏組合議会臨時会（南会津町）
- 28日 会津よつば農業協同組合総代会（会津若松市）
- 29日 映画「峠」上映会
- 30日 (株)季の郷湯ら里株主総会、福島气象台長他あいさつ来庁、6月補正町長査定、只見高校振興対策会議役員会
- 31日 固定資産評価審査委員辞令交付、南会津方部水災害対策協議会、電動アシスト自転車「E-BIKE I SSIMO」貸与及び試乗会、只見町剣道スポ少全国大会出場（只見小 五十嵐千紘君）報告

(写真・文 太田祥作)

ハリオアマツバメ

(学名：Hirundapus caudacutus)

【アマツバメ目アマツバメ科】



▲ 腹面は下尾筒(注)の白色が目立つ。ずんぐりとした体も特徴的

▲ 背中とはぼんやりとした灰色。翼は青緑色の光沢を放つ

アマツバメという鳥がいます。ツバメという名前がついていますが、身近なツバメとは異なる仲間の鳥です。細長い鎌のような翼を使ってとても速く飛ぶことができます。なんと睡眠や交尾すらも飛びながら行うことができ、空中生活に極めて適応している鳥なのです。

今回ご紹介するハリオアマツバメは、繁殖のためにオーストラリアなどから日本に渡ってくる夏鳥です。只見町では6月頃から見られるようになります。アマツバメの仲間に特有の鎌状の翼をもつほか、本種の特徴として額や喉、下尾筒(注)が白いことや、背中の灰色などが挙げられます。尾羽は短く角張っていますが、その羽軸は硬く針のように突出しており、「針尾」となっていることが和名の由来です。

ハリオアマツバメを観察できる機会は、雨の降り出しそうな夕方です。餌となる昆虫を求めて山から下りてくるため、集落上空でも観察できることがあります。また、山麓の池沼では夕方、飛びながら水面に軽く触れるようにして水を飲む「飲水行動」が観察できることもあります。

ハリオアマツバメは営巣場所として、大木の樹洞や割れ目を利用します。そのため、繁殖には成熟した森林が必要です。只見町の天然林は、ハリオアマツバメにとって好適な営巣地としての機能を果たしていると考えられます。

注：鳥類の尾羽の付け根の羽毛。背面のものを上尾筒、腹面のものを下尾筒という

只見町ブナセンターからのお知らせ

6月には下記の日程で野鳥観察会を開催します。ぜひご参加ください。

日 時：2022年6月26日(日) 9:00~12:00

観 察 地：只見湖・新田沢

集 合 場 所：ただみ・ブナと川ミュージアム駐車場